

岡山県立高校における 1人1台端末整備と効果的な活用に向けて



若手の先生方の授業力を高めるセミナー
令和3年12月4日（土）

岡山県教育庁高校教育課教育情報化推進室
総括主幹 伊藤 稔文

岡山県立高等学校・中等教育学校における GIGAスクール構想推進計画

GIGAスクール構想の実現に向け、令和2年度に整備した高速大容量の通信環境や校内無線LANなどの学校ICT環境を活かし、生徒1人1台端末や教育用クラウドの「学び」への活用により、新学習指導要領で目指す資質・能力の確実な育成を図る。

<令和2年度>	『教育ICT環境整備による学びの保証』
<令和3年度>	『1人1台端末の「学び」への活用』
<令和4年度以降>	『新学習指導要領で目指す資質・能力の確実な育成』

岡山県立高校における1人1台端末の導入状況

○導入OS

Chrome OS	44校地
iOS	10校地
Windows OS	2校地

○導入年度

令和2（2020）年度以前	3校地
令和3（2021）年度	37校地
令和4（2022）年度	16校地

※林野高校、和気開谷高校、岡山操山高校が令和2年度以前に導入

お話しする内容

1 岡山県立高校における1人1台端末整備

- (1) 1人1台端末の導入状況
- (2) 保護者、県民の理解を得るために
- (3) 端末統一のメリット

2 Google Workspace for Education

県統一ドメイン

- (1) 県統一ドメインの運用
- (2) 1人1台端末活用推進に向けて

3 端末活用の現状

岡山県立高校における1人1台端末整備方針

生徒用端末

- ・令和3年度又は令和4年度の入学生等から年次進行で整備
学校が指定する端末を**個人購入**
- ・OS、端末は**各校が選定**
- ・住民税非課税世帯等で購入が困難な場合に貸出用端末、配信用ルータを整備（令和2年度中に整備済）

教職員用端末

- ・各校が導入するOSに合わせて整備（令和2年度中に整備済）

端末の統一によるメリット

- 授業等での統一的な活用が可能
- セキュリティ面等の管理が容易
(MDM端末の統一によるメリットによる端末の一括管理、フィルタリング)
- ネットワークトラブル発生時に対応しやすい

保護者の理解を得るために

○端末購入をお願いするリーフレットの作成配布

(令和2年8月)



(令和3年9月)



県民の理解を得るために

○県政広報番組 (令和3年2月)



○県政広報紙 (令和2年12月)

Google Workspace for Education 県統一ドメイン

- ・新型コロナウイルス感染症への対応
学校独自ドメイン → 県統一ドメイン
- ・無料で利用できる
- ・使いやすいアプリ
- ・記憶容量無制限



Google Workspace for Education 県統一ドメイン

○県立学校の全児童生徒、教職員にgoogleアカウントを付与

- ・現在45,017アカウント (令和3年8月6日現在)
- 高校51校、中学校3校、中等教育学校1校、特別支援学校14校の全教職員、児童生徒にアカウント付与

○アカウント管理

- ・教職員のアカウントは県教委で管理 (人事異動に伴う組織部門変更、採用・退職者のアカウント処理等)
- ・児童生徒のアカウントは各学校で管理 (各学校に管理者3名を選任)

教員のICT活用指導力向上のために

○教育の情報化ユニット研修 (eラーニング)

岡山県総合教育センター
<https://www.pref.okayama.jp/page/683507.html>

教職員に必要なICT活用指導力に関する31のユニット (動画、資料で構成)



様々な場面で1人1台端末の活用が進んでいます



様々な場面で1人1台端末の活用が進んでいます



海外の姉妹校との
オンライン交流



県外の高校生・大学生との
オンライン交流

様々な場面で1人1台端末の活用が進んでいます



端末を活用した
プレゼンテーション



複数の意見・考えを
議論して整理

様々な場面で1人1台端末の活用が進んでいます



オンライン授業配信



作品をオンラインで
鑑賞・評価

授業以外にも1人1台端末の活用が進んでいます

- 日々の生徒への連絡
情報を与える → 情報を自ら取得させる
- 部活動での活用
- 臨時休業時等の授業配信など

活用方法は無限大



教員のICT活用指導力向上のために



○おかやまICT活用実践事例集

<http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/>